

東海道五十三次を往く

第9回

原宿

富士と並び称された
白隠ゆかりの地

北に雄大な富士、南に駿河湾を望む原宿は、「駿河には過ぎたるものが二つあり、富士のお山に、原の白隠」とつたわれる。白隠禅師生誕の地。「松蔭寺」を拠点に臨済宗を復興させた白隠の教えを求めて、多くの修行僧が訪れた。原宿は、本陣・脇本陣が各1軒、問屋場が2力所と小さな宿場。街道には住宅や商店が並び、当時の面影はないが、史跡の碑から、歴史を辿ることができる。

史跡の碑があるので、わかりやすい



本陣跡

原宿の渡邊家は、源頼朝・義経のきょうだい、阿野全成の子孫。6,600坪、建坪235坪の屋敷が本陣となった。近くに頼朝が巻狩の際に陣屋をおいたという徳源寺がある。



今も利用されている水汲み場



原駅周辺

酒蔵公園通りには、江戸時代の造り酒屋、高嶋酒造の水汲み場があり、旅人、馬借、町村民にも利用された。現在も「富士山の霊水」として、多くの人々に利用されている。



日本橋から13番目の宿場、原宿。名僧・白隠の軌跡が残る素朴な街道をミスモ編集部が巡りました。

おみやげ

白隠正宗 誉富士
特別純米酒 1,468円(4合)

文化元年(1804)年に東海道の宿場、原に創業。自家培養した酵母と富士山の伏流水とを使った、白隠禅師にちなむ特別純米酒は、自慢の一つ。

高嶋酒造
☎055-966-0018
静岡県沼津市原354-1
🕒9時~17時
🎁土・日曜、祝日



白隠正宗 酒かす飴 380円

ラベルには世界的に有名な白隠の禅画が

問宿 柏原・本陣跡

宿場間の距離が長い場合などに設けられた「問宿」。ここは、大名や公家などの休憩所、茶屋本陣であった。



問屋場跡

宿場には問屋があり、問屋、年寄、問屋代、帳付、馬指などの宿役人が、道中奉行の監督のもと、人馬輸送の業務を行っていた。問屋場跡には現在、個人商店が並ぶ。



松蔭寺

原宿は、500年に一人の高僧で、禅の大衆化を図った白隠禅師生誕の地。白隠は15歳のときに松蔭寺で出家、諸国を行脚修行した後、33歳で同寺の住職に。

